私立大学図書館協会

2011年度東地区部会
部会総会
館長会
研究講演会

2011年6月10日（金）

於：亜細亜大学

私立大学図書館協会２０１１年度東地区部会総会、館長会、研究講演会資料

目　次

＜部会総会＞

部会総会次第 1

Ⅰ　報告事項

１．２０１０年度東地区部会報告

１－１部会 5

１－２研究部 9

２．２０１０年度協会関係会務報告 12

３．２０１１年度私立大学図書館協会役員会、委員会および協会関連団体等委員 31

４．私立大学図書館協会組織図 34

Ⅱ　協議事項

１．２０１０年度東地区部会決算報告及び監査結果 37

２．２０１０年度東地区部会研究部決算報告及び監査結果 38

３．２０１１年度東地区部会事業計画（案） 39

４．２０１１年度東地区部会予算（案） 40

５．２０１１年度東地区部会研究部活動計画（案） 41

６．２０１１年度東地区部会研究部予算（案） 42

＜館長会＞

館長会次第 43

＜研究講演会＞

研究講演会次第 45

講師のプロフィール 47

講演「慶應義塾図書館のグーグル図書館プロジェクト」資料 48

私立大学図書館協会　２０１１年度東地区部会
総会次第

日　　時：　２０１１年6月１０日（金）　１０：００～１２：００

会　　場：　亜細亜大学　２号館　２００教室

開会の辞	司会者（会場校）	亜細亜大学学術情報部長	加藤　幸雄
開会の挨拶	部会長校	明治学院大学図書館長	増山　幸一
挨　　拶	会長校	立教大学図書館長	石川　巧
挨　　拶	会場校	亜細亜大学学長	小川　春男

議長選出	司会者（会場校）	亜細亜大学学術情報部長	加藤　幸雄
開会宣言	議長		

総会成立状況

新規加盟校紹介

＜議　　事＞

Ⅰ　報告事項：１．２０１０年度　東地区部会会務報告及び研究部活動報告

２．２０１０年度　協会関係会務報告

３．２０１１年度　協会委員会及び協会関連団体等委員

Ⅱ　協議事項：１．２０１０年度　東地区部会決算報告及び監査結果

２．２０１０年度　東地区部会研究部決算報告及び監査結果

３．２０１１年度　東地区部会事業計画(案)及び予算（案）

４．２０１１年度　東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

Ⅲ　承合事項

Ⅳ　懇談事項

Ⅴ　その他

閉会の辞	司会者（会場校）	亜細亜大学術情報部長	加藤　幸雄

Ⅰ. 報 告 事 項

1.　　２０１０年度　東地区部会報告

１－１　部会

（１）東地区部会加盟校数　２６０校（２０１０年９月８日総会承認）

２０１０年度新規加盟校

横浜美術大学　（２０１０年　５月１４日受理）

東北文教大学　（２０１０年　５月１７日受理）

仙台大学　（２０１０年　５月１８日受理）

２０１０年度脱退校

静岡英和学院大学　（２００９年　５月１８日受理）

静岡文化芸術大学　（２００９年１１月２７日受理）

２０１１年度新規加盟校　（２０１１年６月１日現在）

ヤマザキ学園大学　（２０１０年　８月３０日受理）

洗足学園音楽大学　（２０１０年１１月１１日受理）

北海道薬科大学　（２０１１年　４月２６日受理）

日本映画大学　（２０１１年　５月２５日受理）

（２）東地区部会総会

日　　時：２０１０年６月１１日（金）　１０：００～１１：４５

会　　場：明星大学　大学会館３階会議室

出 席 校：９９校（出席者：１６３名）　委任状：１５６校　合計２５５校

欠 席 校：４校

司　　会：会場校　明星大学図書館参事　矢部　暁一

開会挨拶：部会長校　青山学院大学図書館長　山本　吉宣

挨　　拶：会長校　関西大学図書館長　北川　勝彦

挨　　拶：会場校　明星大学図書館長　阿部　克己

議長選出：司会者　明星大学図書館参事　矢部　暁一

開会宣言：議長　獨協大学図書館事務課長　羽田　洋一

議　　事：

１．報告事項

（１）２００９年度　東地区部会会務報告及び研究部活動報告

（２）２００９年度　協会関係会務報告

（３）２０１０年度　協会委員会及び協会関連団体等委員

２．協議事項

（１）２００９年度　東地区部会決算報告及び監査結果

（２）２００９年度　東地区部会研究部決算報告及び監査結果

（3）２０１０年度　東地区部会事業計画(案)及び予算（案）

（4）２０１０年度　東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

３．承合事項：特になし

４．懇談事項：特になし

５．そ の 他：

（1）私立大学図書館協会２０１０年度事業計画における研究助成および研修補助について

（3）東地区部会役員会

1）２０１０年度第１回役員会

日　　時：２０１０年4月１６日（金）　１５：００～１７：００

会　　場：青山学院大学　総合研究所ビル　１０会議室

議　　事：

１．報告事項

（1）東地区部会関係

①２００９年度東地区部会会務報告

②２００９年度東地区部会研究部活動報告

（2）部会関係及び協会関連

①２０１０年度第１回常任幹事会報告

２．協議事項

（1）２００９年度東地区部会決算及び監査報告について

（2）２００９年度東地区部会研究部決算及び監査報告について

（3）２０１０年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）について

（4）２０１０年度東地区部会研究部活動計画(案）及び予算（案）について

（5）２０１０年度研修委員について

（6）２０１０年度東地区部会総会・館長会及び研究講演会の開催（案）について

３．懇談事項

（1）東地区部会役員校、総会当番校の選出について

2）２０１０年度第２回役員会

日　　時：２０１１年1月２８日（金）　１５：００～１７：００

会　　場：青山学院大学　総合研究所ビル　１６会議室

議　　事：

１．報告事項：

（1）東地区部会関係

①２０１０年度東地区部会会務報告（4月－１２月）

②２０１０年度東地区部会研究部活動報告（4月－１２月）

（2）協会関連

①２０１０年度第２回常任幹事会報告

２．協議事項：

（１）２０１０年度東地区部会中間決算について

（２）２０１０年度東地区部会研究部中間決算について

（３）２０１１年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）について

（４）２０１１年度東地区部会研究部活動計画(案）及び予算（案）について

（５）次期運営委員と研修委員について

（６）次期東地区部会選出委員について

（７）２０１１年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催（案）について

３．懇談事項

（１）東地区部会新旧役員校事務引継について

４．その他

（１）引継資料の保存について

（４）東地区部会役員会事務連絡会

１）２０１０年度第１回役員会事務連絡会

日　時：２０１０年6月１１日（金）　９：１５～９：３０

会　場：明星大学　大学会館３階６Ｄ

議　事：

１．２０１０年度部会総会について

①部会総会議長候補及び司会について

②部会総会の議事及び報告者について

③承合事項・懇談事項・その他

④全体の進行について

２）２０１０年度第２回役員会事務連絡会

日　時：２０１０年9月8日（水）１２：４５～１３：５０

会　場：西南学院大学　２号館７階中会議室

議　事：

1. 第1回東西合同役員会での報告について

①東地区部会会務報告[部会関係]

（２０１０年4月－７月）

②東地区部会会務報告[研究部関係]

（２０１０年4月－７月）

③２０１４年度総会日程について

④その他

（５）東地区部会館長会

日　時：２０１０年6月１１日（金）　１２：１０～１３：２０
会　場：明星大学　本館７階７０１号室
出席校：６３校（出席者：６４名）
懇談テーマ：大学図書館をどのように活用しているか、活用していくか
司　会：青山学院大学図書館長　山本　吉宣

（6）東地区部会研究講演会（研究部と共催）
日　時：２０１０年6月１１日(金)　１３：４５～１７：１５
会　場：明星大学　大学会館３階会議室
出席校：１２７校（出席者：２３３名）
司　会：研究部運営委員　東京農業大学図書館　　伊藤　富士子
挨　拶：研究部担当理事校　東京理科大学図書館長　　金子　堅司
講演１：「研究者の情報行動と学術情報流通の現況と将来：図書館としてどう考えるか」
慶應義塾大学文学部教授　　倉田　敬子氏
講演２：「研究者・学生・大学にとっての１０年後の大学図書館とは」
千葉大学文学部教授　　土屋　俊氏

（7）東地区部会次期役員校選考委員会
日　時：２０１０年4月１６日（金）　１５：００～１７：００
会　場：青山学院大学　総合研究所ビル　１０会議室
出席校：関西大学、東京理科大学、跡見学園女子大学、関東学院大学、東北学院大学、中央大学、立教大学、明治学院大学、東京農業大学、日本女子大学、酪農学園大学、青山学院大学
議　事：
１．役員校等選考に関する申し合わせについて
２．次期役員候補校選考について

１－２　研究部

（1）運営委員会

第1回　２０１０年　4月１３日（火）　於東京理科大学
第2回　２０１０年　5月２１日（金）　於関東学院大学
第3回　２０１０年　6月１１日（金）　於明星大学
第4回　２０１０年　7月　９日（金）　於東京理科大学
第5回　２０１０年１０月　８日（金）　於帝京大学
第6回　２０１０年１１月１２日（金）　於慶應義塾大学
第7回　２０１０年１２月１０日（金）　於東京理科大学
第8回　２０１１年　3月１１日（金）　於東京理科大学

運営委員（任期　２００９年4月１日～２０１１年3月３１日）

委　　員　伊藤　富士子　（東京農業大学）
　　伊藤　義裕　（青山学院大学）
　　角田　浩子　（慶應義塾大学）
　　金子　和代　（早稲田大学）
　　川北　友美　（帝京大学）
　　菊地　秀明　（跡見学園女子大学）
　　久世　泰子　（東京経済大学）
　　矢野　巧仁　（関東学院大学）

研究部担当理事校　東京理科大学

（2）運営委員・研究分科会代表者合同会議

第1回　２０１０年　5月２１日（金）　於関東学院大学
第2回　２０１０年１１月１２日（金）　於慶應義塾大学

（3）研究会（交流会）

日　時：２０１０年１１月１２日（金）
会　場：慶應義塾大学三田キャンパス　東館
参加者：５６校　９１名
講　演：
　演　題：「アメリカにおける大学図書館のマクドナルド化と飲食対応」
　　東京農業大学学術情報課程　教授　中野　捷三

研究分科会活動中間報告

１０研究分科会　各５分

①分類　②逐次刊行物　③ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ･ｻｰﾋﾞｽ　④ﾚﾌｧﾚﾝｽ　⑤理工学　⑥西洋古版本

⑦和漢古典籍　⑧情報ﾘﾃﾗｼｰ教育　⑨L･ﾗｰﾆﾝｸﾞ学習支援ｼｽﾃﾑ　⑩研修

（4）研修委員会

第1回　２０１０年　４月１５日（木）　於早稲田大学

第2回　２０１０年　５月１３日（木）　於中央大学

第3回　２０１０年　６月１０日（木）　於明治大学

第4回　２０１０年　７月　１日（木）　於専修大学

第5回　２０１０年　９月２８日（火）　於慶應義塾大学

第6回　２０１０年１０月２１日（木）　於慶應義塾大学

第7回　２０１０年１２月１３日（月）　於慶應義塾大学

第8回　２０１１年　３月　４日（金）　於東京理科大学

研修委員（任期２０１０年4月１日～２０１２年3月３１日）

委員長　伊原　千秋　（中央大学）

委　　員　谷藤優美子　（慶應義塾大学）

金万　智昭　（専修大学）

矢野　恵子　（明治大学）

夏井　友子　（早稲田大学）

光富　健一　（東京理科大学）（2010年4月1日～2011年3月31日）

ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ　今村　昭一　（早稲田大学）

（5）研修会

日　時：　２０１０年１１月　４日（木）～５日（金）

会　場：　慶應義塾大学三田キャンパス　東館

テーマ：　「本の歴史、本の未来　－電子書籍時代を迎えて－」

参加者：　７４校　７６名

内　容：

第1日（１１月　４日）

基調講演　「科学史と書物」

慶應義塾大学　文学部　教授　西脇　与作

講　　演　「江戸時代の読本について」

国文学研究資料館研究部　教授　大高　洋司

講　　演　「漢籍　―目録と版本―」

二松学舎大学　文学部　教授　高山　節也

第2日（１１月５日）

講　　演　「大学図書館とインキュナブラ」

早稲田大学教育・総合科学学術院　准教授　　雪嶋　宏一

講　　演　「『紙の本』の未来をめぐって」

文芸批評家　　前田　　墨

講　　演　「電子書籍と学術出版」

東京電機大学出版局　局長　　植村　八潮

（6）研究分科会

次の１０研究分科会が、月例研究会、夏期研究合宿等の活動をおこなう。

（２０１０年4月１日～２０１２年3月３１日）

（1）分類研究分科会
（2）逐次刊行物研究分科会
（3）パブリック・サービス研究分科会
（4）レファレンス研究分科会
（5）理工学研究分科会
（6）西洋古版本研究分科会
（7）和漢古典籍研究分科会
（8）情報リテラシー教育研究分科会
（9）Lラーニング学習支援システム研究分科会
（１０）研修分科会

休会：図書館運営戦略研究分科会、企画広報研究分科会

研究分科会月例会担当理事校　関東学院大学

研究分科会更新担当理事校　　跡見学園女子大学

2. ２０１０年度　協会関係会務報告（２０１０年４月～２０１１年３月）

１．協会会務報告

（１）　加盟校について

① ２０１０年度加盟校数　（２０１０年４月１日現在、２０１０年９月９日承認）

東地区　２６０校

西地区　２６０校

合　計　５２０校

② ２０１０年度新規加盟校：５校

東地区

横浜美術大学　（２０１０年５月１４日受理）

東北文教大学　（２０１０年５月１７日受理）

仙台大学　（２０１０年５月１８日受理）

西地区

びわこ学院大学　（２０１０年５月１９日受理）

宇部フロンティア大学　（２０１０年５月２０日受理）

③ ２０１０年度脱退校：５校

東地区

静岡英和学院大学　（２００９年５月１８日受理）

静岡文化芸術大学　（２００９年１１月２７日受理）

西地区

宮崎産業経営大学　（２００９年６月２９日受理）

愛知新城大谷大学　（２０１０年１月２２日受理）

名桜大学　（２０１０年３月２７日受理）

④ 加盟館名称変更（２０１０年４月１日以降）

東地区

◎新潟国際情報大学情報センター

→　新潟国際情報大学情報センター図書館

◎武蔵野美術大学美術資料図書館

→　武蔵野美術大学美術館・図書館

◎群馬社会福祉大学図書館

→　群馬医療福祉大学図書館

西地区

◎宝塚造形芸術大学図書館

→　宝塚大学図書館

◎中京女子大学附属図書館

→　至学館大学附属図書館

◎福岡経済大学図書館・情報センター

→　日本経済大学図書館・情報センター

◎修文大学・一宮女子短期大学附属図書館
→　修文大学附属図書館
◎京都創成大学メディアセンター
→　成美大学メディアセンター
◎常盤会学園大学情報センター
→　常盤会学園図書館
◎南九州大学高鍋図書館
→　南九州大学都城図書館
◎長崎外国語大学・長崎外国語短期大学教育研究メディアセンター
マルチメディア・ライブラリー
→　長崎外国語大学教育研究メディアセンター

⑤ ２０１１年度新規加盟校(予定)：３校（２０１１年３月３１日現在）

東地区

ヤマザキ学園大学　（２０１０年８月３０日受理）

洗足学園音楽大学　（２０１０年１１月１１日受理）

西地区

滋慶医療科学大学院大学　（２０１１年２月２５日受理）

⑥ ２０１１年度脱退校（予定）：２校（２０１１年３月３１日現在）

西地区

金沢学院大学　（２０１０年３月２３日届出、２０１１年３月４日受理）

東和大学　（２０１１年２月３日受理）

（２）総会・研究大会

①第７１回（２０１０年度）総会

日　時：２０１０年９月９日（木）

場　所：西南学院大学　チャペル

報告事項

１．会務報告

２．委員会報告

３．協会関連事項報告

４．図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドラインについて

５．役員校、委員会および協会関連団体委員

協議事項

１．２００９年度一般会計・特別会計決算報告（案）について

２．２０１０年度事業計画（案）について

３．２０１０年度一般会計・特別会計予算（案）について

４．研究助成規程の一部改正について

５．２０１１年度～２０１２年度役員校について

６．新規加盟校および脱退校について

講演

「知の仕掛け、ラーニング・コモンズをどう捉えるか」

第１部

「なぜ、ラーニング・コモンズが注目されるのか」

同志社大学企画課長　　井上　真琴

第２部

「ラーニング・コモンズの理論的枠組み」

国立情報学研究所学術基盤推進部

学術コンテンツ課長　　米澤　誠

②研究大会

日　時：２０１０年９月１０日（金）

場　所：西南学院大学　チャペル

日　程

１．２００９年度海外集合研修報告

京都精華大学情報館　　大坪　一幸

上智大学図書館　　高橋　正江

白百合女子大学図書館　　高木　彩

北星学園大学図書館　　幸坂　希

明治学院大学図書館　　鈴木　直子

立命館アジア太平洋大学総合情報センター　　大勢　美穂

２．２００９年度海外派遣研修報告

法政大学図書館　　山田　賢悟

３．研究助成発表

「学生の図書に対する感想をＯＰＡＣで共有することによる図書の効果的な活用に関する研究」

尚絅大学・尚絅学園図書館　　鍬田　由佳里・北口　己津子

４．講演

「菅原道真公と太宰府天満宮－我国の図書館学の草分けとして－」

太宰府天満宮文化研究所　主管学芸員・禰宜　　味酒　安則

（３）　東西合同役員会

①　第１回東西合同役員会

日　　時：２０１０年９月８日（水）

場　　所：西南学院大学　２号館

報告事項

１．協会会務報告（２０１０年４月～７月）

２．東地区部会会務報告

３．西地区部会会務報告

４．委員会報告
（１）協会賞審査委員会
（２）研究助成委員会
（３）国際図書館協力委員会
（４）協会ホームページ委員会
５．協会関連事項報告
（１）国公私立大学図書館協力委員会報告
（２）日本図書館協会報告
６．図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドラインについて
７．協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
８．２０１０年度行事・会議予定について

協議事項
１．２００９年度一般会計・特別会計決算報告（案）について
２．２０１０年度事業計画（案）について
３．２０１０年度一般会計・特別会計予算（案）について
４．研究助成規程の一部改正について
５．新規加盟校および脱退校について
６．２０１１年度協会脱退届の取り扱いについて
７．２０１１年度～２０１２年度役員校について
８．２０１１年度課題研究テーマについて
９．第７２回（２０１１年度）総会・研究大会について

懇談事項
１．第７１回（２０１０年度）総会・研究大会について
２．２０１１年度～２０１２年度委員会委員の選出について
３．私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービスについて

② 第２回東西合同役員会
日　　時：２０１１年３月４日（金）
場　　所：大阪ガーデンパレス　桐の間

報告事項
１．協会会務報告（２０１０年８月～２０１１年２月）
２．東地区部会会務報告
３．西地区部会会務報告
４．委員会報告
（１）協会賞審査委員会
（２）研究助成委員会
（３）国際図書館協力委員会
（４）協会ホームページ委員会
５．協会関連事項報告
（１）国公私立大学図書館協力委員会について

（2）国会図書館長と大学図書館長との懇談会について
（3）著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集について
（4）電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について
（5）日本図書館協会について
6．協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
7．２０１１年度行事・会議予定について

協議事項
1．２０１０年度一般会計・特別会計決算報告（案）について
2．２０１１年度事業計画（案）について
3．２０１１年度一般会計・特別会計予算（案）について
4．第７２回（２０１１年度）総会・研究大会について
5．２０１０年度協会賞について
6．２０１０年度研究助成について
7．私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービスについて

懇談事項
1．次期役員校、総会当番校、委員会委員選出について
2．協会賞の審査にあたっての申し合わせについて

（4）常任幹事会

① 第１回常任幹事会

日　　時：２０１０年４月９日（金）
場　　所：関西大学　総合図書館

報告事項
1．協会会務報告
（1）加盟校について
（2）館名変更（２００９年８月２７日以後）
（3）加盟校への書類等の送付について
（4）会報第１３３号の刊行について
2．委員会報告
（1）国際図書館協力委員会報告
3．協会関連事項報告
（1）日本図書館協会報告
4．２０１０年度国際図書館協力シンポジウムについて
5．図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドラインについて
6．２０１０年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について
7．２０１０年度行事・会議予定について

協議事項
1．２００９年度一般会計・特別会計決算報告案について

２．２０１０年度事業計画（案）について

３．２０１０年度一般会計・特別会計予算（案）について

懇談事項

１．次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

② 第２回常任幹事会

日　　時：２０１０年１２月３日（金）

場　　所：青山学院大学　総合研究所ビル

報告事項

１．協会会務報告（２０１０年８月～１１月）

（１）加盟校について

（２）館名変更

（３）未加盟校への勧誘について

（４）加盟校への書類等の送付について

（５）会報第１３４号の刊行について

（６）電子掲示板「インフォメーションサービス」の運用状況について

２．東地区部会会務報告

３．西地区部会会務報告

４．委員会報告

（１）協会賞審査委員会報告

（２）研究助成委員会報告

（３）国際図書館協力委員会報告

（４）協会ホームページ委員会報告

５．協会関連事項報告

（１）国公私立大学図書館協力委員会報告

（２）国会図書館長と大学図書館長との懇談会について

（３）著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集ついて

（４）電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について

６．２０１０年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

７．２０１１年度行事・会議予定について

協議事項

１．２０１０年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込について

２．２０１１年度事業計画（案）について

３．２０１１年度一般会計・特別会計予算（案）について

４．第７２回（２０１１年度）総会・研究大会について

懇談事項

１．次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

２．２０１１年度協会脱退届の取り扱いについて

（５）　未加盟校への勧誘について

本協会未加盟校に対して、会長校より以下の資料を１０月２５日付で送付し、加盟についての案内を行った。

・私立大学図書館協会への加盟について（案内）
・私立大学図書館協会について
・私立大学図書館協会会則
・私立大学図書館協会組織図
・私立大学図書館協会加盟校数一覧
・私立大学図書館協会東地区部会事業内容
・私立大学図書館協会西地区部会事業内容
・加盟申込書
・協会会報第１３３号
・第７１回総会・研究大会資料
・教育学術新聞（写）

（６）　加盟館への書類等の送付について

以下の書類等を加盟大学図書館宛に送付した。

①　４月１日付発送

・私立大学図書館協会会費および加盟大学在学学生数調査に関する書類
・２０１０年度暫定予算の執行について
・第７１回総会への議題・承合事項について
・協会ホームページについて（お知らせとお願い）
・各種届け・申請書について（ご案内）
・加盟図書館名簿記載事項変更届
・国際図書館協力基金による私立大学図書館協会加盟図書館２０１０年度第１回寄贈資料搬送事業実施について
・２０１０年度国際図書館協力シンポジウムの開催について

②　４月５日付発送（メールマガジンによる）

・図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドラインについて
・ＲＦＩＤ導入のためのガイドライン審議について（依頼）
・「図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドライン」の検討について（依頼）
・図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドライン
・図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドライン解説

③　４月７日付発送（メールマガジンによる）

・平成２２年度大学図書館職員長期研修の開催について（通知）
・平成２２年度大学図書館職員長期研修実施要項

④ ４月２２日付発送（メールマガジンによる）

・ 学位論文（博士）の共通許諾などについて
・ 学位論文デジタル化の実施について
・ 学位論文（博士）の共通許諾について
・ 学位論文（博士）の共通許諾手順案

⑤ ６月２１日付発送

・ 大学図書館間における資料複製に関する合意書の送付について
・ 「大学図書館間協力における資料複製に関する合意書」について（通知）
・ 大学図書館間協力における資料複製に関する合意書（写し）
・ （別表）大学図書館一覧（平成２２年３月５日現在）

⑥ ７月１６日付発送

・ ２０１０年度海外集合研修（短期研修）の参加者募集について（ご案内）
・ 私立大学図書館協会２０１０年度事業計画における研究助成および研修補助について
・ 新たな研究助成　海外図書館事情調査
・ 新たな海外研修　海外認定研修

⑦ ９月１７日付発送

・ ２０１０年度協会賞受賞候補者の推薦について（依頼）
・ ２０１０年度研究助成の募集について（お知らせ）
・ ２０１０年度研究助成応募要領
・ 課題研究のテーマについて
・ ２０１０年度海外認定研修について（ご案内）
・ ２０１０年度第２回寄贈資料搬送事業実施について（ご案内）

⑧ １１月１５日付発送（メールマガジンによる）

・ 著作権に関する権利者側の要望事項について（お願い）
・ 著作権に関する権利者側の要望事項に関する周知と意見募集について（お願い）
・ 「発行後相当期間」に関する権利者側要望の骨子について（図書館側まとめ）
・ 著作権法３１条に基づく複製以外に図書館が行なう複製について

⑨ ３月１５日付発送

・ 大学図書館間における資料複製に関する合意書の送付について
・ 大学図書館間協力における資料複製に関する合意書（写し）
・ （別表）大学図書館一覧（平成２３年３月５日現在）
　（東日本大震災のため青森・宮城・山形・福島と茨城の一部は４月８日付発送）

⑩ ３月２８日付発送

・ 会長交代の挨拶状
　（東日本大震災のため宮城・福島の一部は４月８日付発送）

（７） 会報第１３４号・１３５号の刊行について

・ 第１３４号は、２０１０年９月８日に刊行した。

・第１３５号は、２０１１年3月８日に刊行した。
・偶数号に東地区・西地区各々の会務報告・研究大会報告を掲載し、奇数号に協会総会・大会報告を掲載している。

2. 委員会報告

（1） 協会賞審査委員会報告

第１回委員会

日　　時：２０１１年2月２５日（金）

場　　所：慶応義塾大学　図書館新館

協議事項

１．協会賞の審査について（応募１件）

２．次期委員長の選出について

（2） 研究助成委員会報告

1）委員会について

① 第１回委員会

日　　時：２０１０年5月２８日（金）

場　　所：関西大学　総合図書館

報告事項

１．２００９年度特別会計決算および２０１０年度特別会計予算について

協議事項

１．研究助成「海外図書館事情調査」の新設について

２．研究助成規程の改正について

３．課題研究のテーマについて

４．今後のスケジュールについて

② 第２回委員会

日　　時：２０１１年1月２７日（木）

場　　所：立教大学（池袋キャンパス）　１１号館

協議事項

１．研究助成の審査について（応募２件）

２．２０１０年度特別会計決算および２０１１年度特別会計予算について

（3） 国際図書館協力委員会

1）委員会について

① 第１回委員会

日　　時：２０１０年4月２３日（金）

場　　所：青山学院大学　総合研究所ビル

報告事項

１．国際図書館協力特別会計２００９年度決算について

協議事項

１．国際図書館協力特別会計２０１０年度予算について

２．国際図書館協力基金について

３．国際図書館協力シンポジウムについて

４．２０１０年度イリノイ大学モーテンソンセンターとの協定および海外派遣研修について

５．２０１０年度海外集合研修について

② 第２回委員会

日　　時：２０１０年５月１３日（木）

場　　所：青山学院大学　総合研究所ビル

協議事項

１．国際図書館協力シンポジウムについて

③ 第３回委員会

日　　時：２０１０年７月２日（金）

場　　所：立命館大学

報告事項

１．国際図書館協力シンポジウム実施総括と経費の決算（案）について

２．海外認定研修について

協議事項

１．２０１０年度第１回寄贈資料搬送事業募集結果について

２．２０１０年度第２回寄贈資料搬送事業募集について

３．２０１０年度海外集合研修（短期研修）の参加者募集について

４．国際図書館協力基金について

④ 第４回委員会

日　　時：２０１０年１０月１日（金）

場　　所：早稲田大学　大隈記念タワー

報告事項

１．海外認定研修について

協議事項

１．２０１０年度海外集合研修派遣者について

２．２０１１年度海外派遣研修について

３．国際図書館協力基金について

⑤ 第５回委員会

日　　時：２０１０年１２月１７日（金）

場　　所：愛知大学　研究館

報告事項

１．２０１０年度海外集合研修について

２．イリノイ大学モーテンソンセンターとの協定締結について

協議事項

１．２０１０年度第２回寄贈資料搬送事業について

２．２０１０年度海外認定研修について

３．国際図書館協力基金について

⑥ 第６回委員会

日　　時：２０１１年３月１１日（金）

場　　所：関西大学　総合図書館

報告事項

１．２０１０年度海外集合研修報告書について

２．２０１０年度海外認定研修報告書について

３．２０１１年イリノイ大学モーテンソンセンターとの協定書について

４．２０１０年度国際協力基金について

協議事項

１．２０１０年度海外認定研修（第２次募集）について

２．２０１０年度各事業進捗状況について

３．２０１０年度予算執行状況について

４．２０１１年度第１回寄贈資料搬送事業募集要項について

2）実施事業について

① ２０１０年度第１回寄贈図書搬送事業について

募集期間：２０１０年４月１日～５月３１日

	申請館	寄贈先	冊数	箱数	費用
1	国際大学松下図書・情報センター	Institute of Rural Development Planning（ﾀﾝｻﾞﾆｱ）	200	10	61,290円
2	阪南大学図書館	East Asian Library-Leuven University （ﾍﾞﾙｷﾞｰ）	414	18	294,000円

② ２０１０年度第２回寄贈図書搬送事業について

募集期間：２０１０年１０月１日～１１月３０日

	申請館	寄贈先	冊数	箱数	費用
1	国際大学松下図書・情報センター	Institute of Rural Development Planning（ﾀﾝｻﾞﾆｱ）	200	10	64,000円
2	国士舘大学附属図書館	National University of Mongolia（ﾓﾝｺﾞﾙ）	403	30	551,850円

3	京都産業大学図書館	清華大学外国語学部日本語学科（中国）	279	24	250,000円

※ 国際大学の資料搬送については、タンザニアの国内搬送手配の関係で日本郵便による搬送とする

※ 国士舘大学の資料搬送については、モンゴルへの搬送が船便利用では困難であるため航空便扱いでの搬送とし、見積価格を上限としてモンゴルでの通関・搬送手配が可能な業者を調整・選定する。

③ ２０１０年度国際図書館協力シンポジウムについて

日　　程：２０１０年５月１４日（金）

会　　場：青山学院大学　青山キャンパス

テ ー マ：学術情報のデジタル化と図書館の未来　－ネットワーク時代の国際連携－

講　　演：Dr. Ingrid T. Parent (University Librarian)

University of British Columbia 図書館長（2009.7.1～）

国際図書館連盟（IFLA）次期会長（2011～2013 年）

パネルディスカッション

パネリスト

Ingrid T. Parent	UBC 図書館長（講師）
時実　象一	愛知大学文学部教授
古賀　　崇	京都大学附属図書館研究開発室准教授
中元　　誠　（司会）	早稲田大学図書館事務部長

④ ２０１０年度海外集合研修について

・日　　程：２０１０年１１月２１日～１１月２８日

・研修テーマ：カナダの大学図書館探訪

・訪問機関：University of British Columbia (Vancouver)

University of Victoria (Vancouver)

・参 加 者：中央大学図書館　永井　夏紀

日本社会事業大学附属図書館　八神　加奈

立教大学図書館　宮尾　香奈子

⑤ ２０１０年度海外派遣研修の中止

イリノイ大学モーテンソンセンターより、２０１０年度の研修プログラムについては中止し、現行のプログラムを改善のうえ２０１１年度（６月か７月）に再開する旨の連絡があった。

これに伴い、私立大学図書館協会とイリノイ大学モーテンソンセンターとの協定について２０１０年度は締結しないこととなった。

２０１１年度については２０１０年度に派遣する予定であった鈴木氏を次のとおり派遣する。

派 遣 者：文教大学越谷図書館　　鈴木　正紀

派 遣 先：イリノイ大学モーテンソンセンター

日　　程：２０１１年5月３０日～6月２２日

⑥ ２０１０年度海外認定研修について

募集期間：２０１０年9月１７日～１１月３０日（第１次）

締切延長：２０１１年2月２８日（第２次）

採 択 者：麗澤大学図書館　　堀江　元信

立教大学図書館　　江原　つむぎ

関西学院大学図書館　　今村　太朗

武庫川女子大学　　川崎　安子

東京理科大学　　本間　通正

（4）　協会ホームページ委員会

1）委員会について

① 第１回委員会

日　　時：２０１０年4月２３日（金）

場　　所：立命館アジア太平洋大学　第４会議室

報告事項

1．私立大学図書館協会ならびに各地区部会・各地区協議会ＨＰの更新状況報告

協議事項

1．掲示板の運用について

2．私立大学図書館協会ホームページリンク登録手続きの廃止について

3．次期ホームページ委員の構成について

② 第２回委員会

日　　時：２０１０年7月９日（金）

場　　所：中京大学　名古屋キャンパス　図書館

報告事項

1．私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会ＨＰの更新等状況報告

協議事項

1．掲示板の運用について

2．次期ホームページ委員の構成について

3．WWW 情報提供サービス利用申請書フォーマット見直しについて

③ 第３回委員会

日　　時：２０１０年１０月２９日（金）

場　　所：同志社大学　今出川図書館

報告事項

1．私立大学図書館協会並びに各地区部会・各地区協議会 HP の更新等状況報告

２．東西合同役員会・総会報告

協議事項

１．私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービスについて

２．次期ホームページ委員の構成について

３．ホームページ委員業務の業者委託について

４．その他

④ 第４回委員会

日　　時：２０１１年2月２３日（水）

場　　所：中央大学　中央図書館（多摩キャンパス）

報告事項

１．私立大学図書館協会ならびに各地区部会・各地区協議会ＨＰの更新状況報告

協議事項

１．ファーストサーバ　次年度契約について

２．ファーストサーバ　移行作業について

３．次年度の活動報告について

４．その他

2）実績報告

① 協会インフォメーションサービスの開始

２０１０年１０月１日から試験運用を開始した。（２０１１年度より正式運用）

図書館長のリレーメッセージ、東北地方太平洋沖地震被災大学への協力支援、加盟館開催の講演会・シンポジウムの案内などに活用されている。

② 協会ホームページのサーバ移転

２０１１年3月２９日に協会ホームページを新サーバへ移転した。サーバ切り替えによりディスク容量が大幅に拡張された。

③ 英語版ページのリニューアル

英語版ページのリニューアルにむけて、外部に委託して英語版Ｗｅｂページを作成した。（２０１１年4月公開）

3）WWW情報資源提供サービス利用状況（２０１１年3月３１日現在）

① 有料レンタルサーバの契約

契 約 期 間：年間契約

契約ﾃﾞｨｽｸ容量：１ＴＢ

使　用　量：2.８４ＧＢ

② 情報資源利用状況

ホームページ設置スペースサービス：２０団体（２８団体）

代表者宛メールアドレスサービス：２５団体（２５団体）

構成員用メーリングリストサービス：３１団体（３６団体）

3. 協会関連事項報告

（1） 国公私立大学図書館協力委員会報告

1） 委員会について

① 第６８回国公私立大学図書館協力委員会

日　　時：２０１０年7月３０日（金）

場　　所：大阪市立大学　学術情報総合センター

報告事項

1．委員長館会務報告

（1）平成２１年度第２回常任幹事会

（2）国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

（3）常任幹事館担当者打ち合わせ

（4）常任幹事館と国立情報学研究所との業務連絡会

（5）国立国会図書館と大学図書館との連絡会

（6）ＩＣタグ研究委員会図書館部会について

2．「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告

3．「大学図書館研究」編集委員会報告

4．大学図書館著作権検討委員会報告

5．シンポジウム企画・運営委員会報告

6．ＧＩＦプロジェクトチーム報告

7．学位論文電子化に関するワーキンググループ活動報告

8．ＪＣＯＬＣ関連報告

（1）国際図書館コンソーシアム連合（ＩＣＯＬＣ関連）

（2）ＪＣＯＬＣ関連

9．その他

（1）国立大学図書館協会関連

（2）公立大学協会図書館協議会関連

（3）私立大学図書館協会関連

（4）国立国会図書館協会関連

（5）日本図書館協会大学図書館部会関連

協議事項

1．次期委員長館の選出について

② 第６９回　国公私立大学図書館協力委員会

日　　時：２０１０年１１月１１日（木）

場　　所：国立情報学研究所　講義室１・２

報告事項

1．委員長館会務報告

（1）事務引継
（2）出席者一覧、協力委員会名簿、専門委員会名簿
（3）常任幹事館担当者打ち合わせ
（4）平成２２年度第１回常任幹事会
（5）国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
2．「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告
3．「大学図書館研究」編集委員会報告
4．大学図書館著作権検討委員会報告
5．シンポジウム企画・運営委員会報告
6．ＧＩＦプロジェクト関連報告
7．学位論文電子化に関する進捗報告
8．ＪＣＯＬＣ関連報告
（1）国際図書館コンソーシアム連合（ICOLC 関連）
（2）国立大学図書館協会
（3）公私立大学図書館コンソーシアム（PULC 関連）
9．その他
（1）国立大学図書館協会関連
（2）公立大学協会図書館協議会関連
（3）私立大学図書館協会関連
（4）日本図書館協会大学図書館部会関連
（5）NACSIS-ILL による BLDSC 依頼サービスの終了について

協議事項
1．平成２１年度決算報告書（案）ならびに監査報告について
2．平成２２年度予算（案）について
3．電子ジャーナル・コンソーシアム連携について
4．監事館の選出について

懇談事項
1．SCOAP3 への対応について

（2）日本図書館協会について
1）会議について
① ２０１０年度第１回評議員会
日　　時：２０１０年５月２７日（木）
場　　所：日本図書館協会　２階研修室
報告事項
1．理事会報告
協議事項

１．２００９年度会務報告案について
２．２００９度決算報告案について
３．２００９年度監査報告について
４．顧問の推挙、参与の委嘱について
５．新たな法人への移行について
６．第９６回全国図書館大会奈良大会の開催について

② 第３２期第１年次（２０１０年度）定期総会

日　　時：２０１０年５月２８日（金）
場　　所：日本図書館協会
協議事項
２００９年度会務報告・案
２００９年度決算報告・案
新たな法人への移行について

③ ２０１０年度第２回評議員会

日　　時：２０１１年３月１８日（金）
場　　所：日本図書館協会　２階研修室
報告事項
１．理事会報告
協議事項
１．２０１１年度事業計画案について
２．２０１１度予算について
３．新たな法人（「公益社団法人日本図書館協会」）移行について
定款案等の提案
４．映像事業について
５．新たな法人への移行について

（３）　国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について

日　　時：　２０１０年１１月１１日（木）
場　　所：　国立国会図書館　本館総務課第１会議室
懇談会次第
１．開会あいさつ
２．国立国会図書館と大学図書館との連絡会活動報告
３．国立国会図書館長による基調報告
４．国公私立大学図書館協力委員会委員長による基調報告
５．意見交換
６．閉会あいさつ

（４）　著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集について

国公私立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループから次のことについて意見募集の依頼があった。

・　発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物を図書館が複製する場合において、権利者が出版物等に適宜、「発行後相当期間」を表示すること

・　私的使用目的の複製ならびに教育を担任する者及び授業を受ける者がする複製など著作権法第３１条以外の複製について、図書館は館内において禁止すること

私大図協発第１０－６７号（２０１０年１１月１５日付）文書（メールマガジンによる）にて周知するとともに意見募集への協力依頼を行なった。

（５）　電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について

国立情報学研究所と大学間で協定を締結し、ワーキング・グループを設置した。プレスリリースを実施した。新たな組織の設置に向けた準備を行っている。

（６）　その他（後援・共催事項）

①　１１回図書館総合展の後援について

日　　時：２０１０年１１月２４日（水）～１１月２６日（金）

場　　所：パシフィコ横浜

主　　催：図書館総合展運営委員会

企画・運営：カルチャー・ジャパン

後援内容：後援名義使用のみで、経費は不要

②　情報保存研究会・日本図書館協会共催シンポジウムの後援について

日　　時：２０１０年１０月２９日（金）

場　　所：江戸東京博物館ホール

テ ー マ：『デジタルアーカイブの最前線－現状と未来－』

後援内容：後援名義使用のみで、経費は不要

（７）　公私立大学図書館コンソーシアム（ＰＵＬＣ）への宛名シール提供について

７月１５日にＰＵＬＣ事務局・早稲田大学図書館より、版元提案説明会開催案内を送付するため加盟館のタック紙の提供依頼があり、従来どおり、本年も７月２０日にタック紙を送付した。

（８）　国立国会図書館によるインターネット資料収集保存事業について

平成２２年４月１日施行の改正国立国会図書館法に基づき、国立国会図書館によるインターネット資料収集保存事業が開始された。

ロボットで許諾なく自動的に収集できるウェブ情報の対象機関は、国機関および地方公共団体、独立行政法人、国・公立大学である。

（第６８回国公私立大学図書館協力委員会報告による）

（９）　図書館におけるＲＦＩＤ導入のためのガイドラインについて

国公私立大学図書館協力委員会より検討依頼を受け、内容的に妥当であるので本協会として標記ガイドラインに賛同したもの。

私大図協発第１０－４号（２０１０年４月５日付）文書（メールマガジンによる）にて本協会加盟館へ周知した。

３．２０１１年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

（1） 役員校

会長校　立教大学

東地区部会

部会長校	明治学院大学	
理事校	東京農業大学	（研究部担当）
〃	日本女子大学	（分科会更新担当・会報担当）
〃	神奈川大学	（分科会月例担当）
〃	酪農学園大学	（東北・北海道地区担当）
監事校	青山学院大学	（前部会長校）

西地区部会

部会長校	広島修道大学	（中国・四国地区協議会）
理事校	中京大学	（東海地区協議会）
〃	奈良大学	（京都地区協議会）
〃	桃山学院大学	（阪神地区協議会）
〃	広島工業大学	（中国・四国地区協議会・会則第１３条第２項）
〃	熊本学園大学	（九州地区協議会）
監事校	関西大学	（前会長校）

（2） 委員会

1）協会賞審査委員会

今村太朗（委員長）	関西学院大学
阿部博則	駒澤大学
古庄敬文	西南学院大学
石黒敦子	慶應義塾大学
神﨑順一	天理大学
荘司雅之	早稲田大学
鈴木正紀	文教大学
山内隆文	名古屋学院大学

2）研究助成委員会

斎藤雅彦（委員長）	専修大学
足立祐輔	愛知学院大学
川尻勝治	桃山学院大学
小泉　徹	立教大学
武山精志	立命館大学
坂口雅樹	明治大学
社家彰夫	広島修道大学

山　田　玲　子　　明治学院大学

3）国際図書館協力委員会

長　島　敏　樹（委員長）　慶應義塾大学
今　村　太　朗　　関西学院大学
木　村　千　鶴　　広島修道大学
大　平　龍　玄　　愛知学院大学
鈴　木　直　子　　明治学院大学
吉　兼　ま　り　　東京農業大学

4）協会ホームページ委員会

濱　生　快　彦（委員長）　関西大学
安　東　正　玄　　立命館大学
千葉久仁子　　明治学院大学
廣松亜矢子　　熊本学園大学
井　上　瑞　枝　　広島工業大学
村　上　諭　司　　桃山学院大学
中　村　直　美　　愛知大学
野　原　文　子　　立教大学
社　家　彰　夫　　広島修道大学
土　屋　寛　子　　東京農業大学
梅　田　順　一　　明治大学

（3）　協会関連団体

1）国公私立大学図書館協力委員会

（委員長館：慶応義塾大学（２０１０年８月１日～２０１１年７月３１日）

① 委員館（２０１１年４月１日～２０１３年３月３１日）

委員館・常任幹事館　　慶應義塾大学
委員館・常任幹事館　　早稲田大学
委員館　　立教大学
委員館　　明治学院大学
委員館　　広島修道大学
委員館　　関西大学

②『大学図書館協力ニュース』編集委員会

委員（２０１１年４月１日～２０１３年３月３１日）

伊　藤　秀　弥　　立教大学
椎名ちか子　　明治学院大学
木　村　千　鶴　　広島修道大学

③『大学図書館研究』編集委員会

委員

天　笠　洋　一	京都産業大学
市古みどり	慶應義塾大学
市河原雅子	関西学院大学
西脇亜由子	明治大学
下　澤　計　治	法政大学
多　田　智　子	早稲田大学

④ 大学図書館著作権検討委員会

委員

松　本　和　子（主査）	慶應義塾大学
荘　司　雅　之	早稲田大学

⑤ 大学図書館著作権検討委員会ワーキング・グループ

委員

岡　野　純　子	慶應義塾大学
服　部　光　泰	早稲田大学

⑥ シンポジウム企画・運営委員会

委員

市　古　みどり	慶應義塾大学
中　元　　誠	早稲田大学

2）日本図書館協会

① 施設会員理事

田　村　俊　作	慶應義塾大学メディアセンター所長

② 施設会員評議員

石　川　　巧	立教大学図書館長
増　山　幸　一	明治学院大学図書館長
森　川　　泉	広島修道大学図書館長
北　川　勝　彦	関西大学図書館長

③ 大学図書館部会

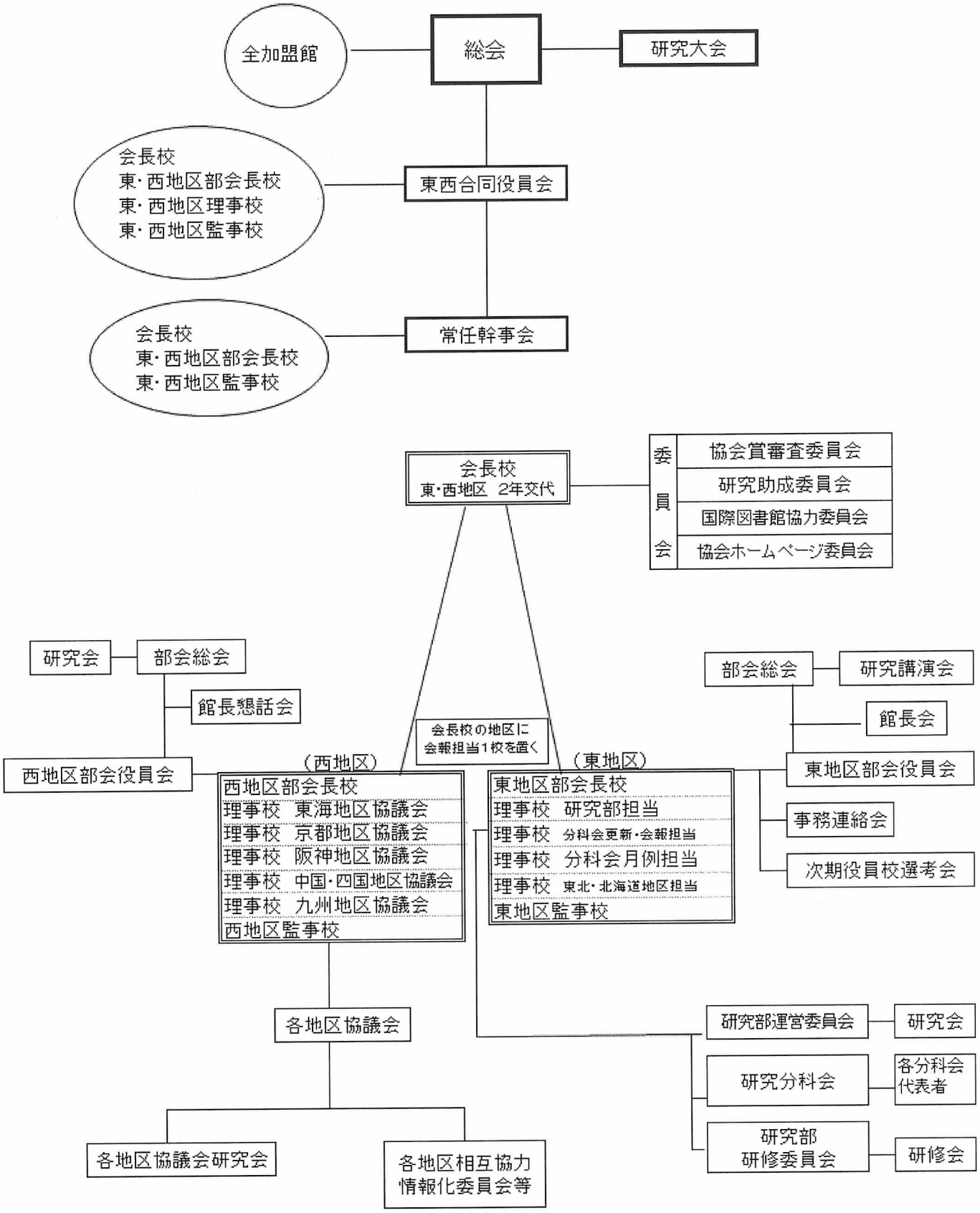
施設会員委員

荘　司　雅　之	早稲田大学
関　　秀　行	慶應義塾大学

④ 図書館年鑑編集委員

小　泉　　徹	立教大学

4．私立大学図書館協会組織図



Ⅱ. 協 議 事 項

１．２０１０年度　東地区部会決算報告及び監査結果

2010年度 私立大学図書館協会東地区部会
決算報告書
（ 2010年4月1日 ～ 2011年3月31日 ）

収入の部　（単位：円）

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備考
協会交付金	3,367,000	3,380,000	△ 13,000	@13,000×260校
雑収入	1,000	628	372	預金利息
小計	3,368,000	3,380,628	△ 12,628	
前年度繰越金	2,767,781	2,767,781	0	
合計	6,135,781	6,148,409	△ 12,628	

支出の部　（単位：円）

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備考
役員会費	220,000	170,083	49,917	意見交換会費及び役員活動費含む
部会総会費	400,000	373,863	26,137	
館長会他弁当代	165,000	160,650	4,350	
講師謝礼	100,000	100,000	0	
総会飲物代	55,000	33,213	21,787	
会場校謝礼	50,000	50,000	0	
その他	30,000	30,000	0	
印刷費	300,000	279,300	20,700	
総会資料印刷代	280,000	279,300	700	
部会長校用封筒印刷代他	20,000	0	20,000	
通信費	70,000	37,795	32,205	
部会総会開催通知発送代	40,000	20,560	19,440	
総会欠席校へ資料発送代他	20,000	10,400	9,600	
宅急便代、振込手数料他	10,000	6,835	3,165	
運営事務費	20,000	4,079	15,921	
研究部交付金	2,926,900	2,936,000	△ 9,100	13,000×0.7×260校 研修分科会支援金¥570,000
小計	3,936,900	3,801,120	135,780	
予備費	2,198,881	0	2,198,881	
合計	6,135,781	3,801,120	2,334,661	
次年度繰越金	0	2,347,289	△ 2,347,289	
総計	6,135,781	6,148,409	△ 12,628	

上記のとおり報告いたします。

2011年3月31日
私立大学図書館協会
東地区部会長校
青山学院大学図書館

関係帳簿並びに証憑書類を精査した結果、正確なることを認めます。
2011年4月6日
私立大学図書館協会
東地区部監事校
中央大学図書館

２．２０１０年度　東地区部会研究部決算報告及び監査結果

2010年度私立大学図書館協会東地区部会研究部

決　算　報　告　書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部

単位：円

科　　目	予算額(A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	摘　　要
部会交付金	2,926,900	2,936,000	△ 9,100	@13,000円 × 0.7 × 257 校 加盟館追加３校分 (27,300円) 570,000円 部会長校より研修分科会支援金
研修会参加費収入	270,000	228,000	42,000	参加費：@3,000円 3,000 × 76 名
研究会参加費	150,000	96,000	54,000	意見交換会参加費：@3,000円 3,000 × 32 名
雑　収　入	1,000	350,206	△ 349,206	預金利息、相互協力研究分科会廃止および 文献探索研究分科会より経費返還
小　　計	3,347,900	3,610,206	△262,306	
前年度繰越金	2,562,792	2,562,792	0	
合　　計	5,910,692	6,172,998	△262,306	

支出の部

科　　目	予算額(A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	摘　　要
研究会開催費	400,000	319,088	80,912	研究会（交流会）11月12日開催 （於 慶應義塾大学）
研修会開催費	700,000	689,695	10,305	研修会 11月4･5日（於 慶應義塾大学）
運営委員会費	100,000	99,995	5	
運営委員・分科会代表者合同会議	160,000	83,425	76,575	年2回開催 （第1回5月21日於関東学院大学・ 第2回11月12日於慶應義塾大学）
分科会助成金	760,000	605,000	155,000	基本助成： 300,000 円 (30,000 × 10 分科会) 割増助成： 305,000 円 (@5,000×正会員61名 [上限13万円/分科会])
特別助成金	620,000	570,000	50,000	研修分科会（2009年度新設）
研修委員会費	100,000	100,000	0	
研究部活動費	50,000	9,550	40,450	研修分科会打合せ会議・会合費
印　刷　費	350,000	239,085	110,915	研究部報告書：500部
通　信　費	100,000	99,220	780	研修会案内通知，交流会案内通知，研修分科会 募集通知発送
運営事務費	50,000	52,742	△ 2,742	
小　　計	3,390,000	2,867,800	522,200	
予　備　費	2,520,692	75,495	2,445,197	廃会分科会返還経費より報告書ＰＤＦ化
次年度繰越金	0	3,229,703	△ 3,229,703	
合　　計	5,910,692	6,172,998	△ 262,306	

2010年度私立大学図書館協会東地区部会研究部決算報告は、以上の通りです。

2011年3月31日

東地区部会研究部担当理事校　　東京理科大学図書館

監　査　報　告　書

2010年度に係る決算報告書及び附属書類について、その証憑書類及び帳簿を監査いたしました結果、当該決算報告書は適正に表示されていると認めます。

2011年4月5日

東地区部会監事校　　中央大学図書館

３．２０１１年度　東地区部会事業計画(案)

（２０１１年４月１日～２０１２年３月３１日）

１．　事業計画

（１）　東地区における私立大学図書館協会の活動推進

・協会ホームページ運営における支援協力の活性化、研究活動助成など各種取り組みを成功させるための活動。

・地域参加館との連携強化

（２）　研究部活動の充実－研修分科会の発展

（３）　総会及び館長会の開催

（４）　相互協力活動の推進

各種図書館間の情報交換及び協力活動の推進。

（５）　部会運営の効率化

図書館職員数減少など参加館の実情に合わせた部会運営の見直し。

２．　行事・会議予定

東地区関係

東地区部会総会	２０１１年	６月	１０日（金）	亜細亜大学
館長会・研究講演会	２０１１年	６月	１０日（金）	亜細亜大学
役　員　会				
第１回役員会	２０１１年	４月	２２日（金）	明治学院大学
第１回役員会事務連絡会	２０１１年	６月	１０日（金）	亜細亜大学
※部会総会会場９：15～				
第２回役員会事務連絡会	２０１１年	８月	３１日（水）	早稲田大学
※私大図協総会会場（総会前日）				
第２回役員会	２０１２年	１月	２７日（金）	明治学院大学

協会関係

東西合同役員会				
第　１　回	２０１１年	８月	３１日（水）	早稲田大学
第　２　回	２０１２年	３月	９日（金）	東京ガーデンパレス
総　　会	２０１１年	９月	１日（木）	早稲田大学
研 究 大 会	２０１１年	９月	２日（金）	早稲田大学

４．２０１１年度　東地区部会予算（案）
（２０１１年４月１日～２０１２年３月３１日）

収入の部　（単位：円）

科目	11年度予算(A)	10年度予算(B)	差異(A-B)	備考
協会交付金	3,380,000	3,367,000	13,000	@13,000×260校
雑収入	1,000	1,000	0	
小計	3,381,000	3,368,000	13,000	
前年度繰越金	2,347,289	2,767,781	△ 420,492	
合計	5,728,289	6,135,781	△ 407,492	

支出の部　（単位：円）

科目	11年度予算(A)	10年度予算(B)	差異(A-B)	備考
役員会費	200,000	220,000	△ 20,000	意見交換会費及び役員活動費含む
部会総会費	395,000	400,000	△ 5,000	
館長会他弁当代	165,000	165,000	0	
講師謝礼	100,000	100,000	0	
総会飲物代	50,000	55,000	△ 5,000	
会場校謝礼	50,000	50,000	0	
その他	30,000	30,000	0	
印刷費	340,000	300,000	40,000	
総会資料印刷代	280,000	280,000	0	
部会長校用封筒印刷代他	60,000	20,000	40,000	封筒印刷代
通信費	90,000	70,000	20,000	
部会総会開催通知発送代	30,000	40,000	△ 10,000	
総会欠席校へ資料発送代他	20,000	20,000	0	
宅急便代、振込手数料他	40,000	10,000	30,000	
運営事務費	50,000	20,000	30,000	ファイル、ラベル代
研究部交付金	2,366,000	2,926,900	△ 560,900	13,000×0.7×260校
小計	3,441,000	3,936,900	△ 495,900	
予備費	2,287,289	2,198,881	88,408	
合計	5,728,289	6,135,781	△ 407,492	

５．２０１１年度　東地区部会研究部活動計画（案）

（２０１１年4月１日～２０１２年3月３１日）

１．研究部活動方針

１）研究活動

２）研修活動

３）研究部ホームページの安定的運用

２．活動計画

１）運営委員会

研究部の活動計画、予算・決算、研究部の運営その他について協議。

年８回程度開催。

２）運営委員・研究分科会代表者合同会議

研究分科会活動計画・運営その他について協議。

２０１１年５月、１１月の年２回開催。

３）研究会

「研究分科会報告大会」（研究分科会活動成果発表）の開催。

２０１１年１２月開催予定。会場未定。

４）研修委員会

研修会開催（年１回）のため、年８回位開催予定。

５）研修会

２０１１年１０月２７～２８日　於：専修大学

６）研究分科会

１０研究分科会が、月例研究会・夏期研究合宿等の活動を実施する。

(1)分類研究分科会
(2)逐次刊行物研究分科会
(3)パブリック・サービス研究分科会
(4)レファレンス研究分科会
(5)理工学研究分科会
(6)西洋古版本研究分科会
(7)和漢古典籍研究分科会
(8)情報リテラシー教育研究分科会
(9)Ｌ－ラーニング学習支援研究分科会
(１０)研修分科会（単年度活動）

休会：図書館運営戦略研究分科会 、企画広報研究分科会

６．２０１１年度　東地区部会研究部予算（案）

（２０１１年４月１日～２０１２年３月３１日）

収入の部　　（単位：円）

科　　目	本年度予算 (A)	前年度予算 (B)	差異　(A-B)	摘　　要
部会交付金	2,366,000	2,926,900	△ 560,900	@13,000円 × 0.7 × 260校
研修会参加費収入	300,000	270,000	30,000	参加費：@3,000円 3,000 × 100 名× 1 回
研究会参加費	0	150,000	△ 150,000	2011年度は研究分科会報告大会のため未計上
雑　収　入	1,000	1,000	0	預金利息
小　　計	2,667,000	3,347,900	△ 680,900	
前年度繰越金	3,229,703	2,562,792	666,911	
合　　計	5,896,703	5,910,692	△ 13,989	

支出の部　　（単位：円）

科　　目	本年度予算 (A)	前年度予算 (B)	差異 (A-B)	摘　　要
研究会開催費	500,000	400,000	100,000	研究分科会報告大会開催
研修会開催費	700,000	700,000	0	2011年度は1回開催
運営委員会費	100,000	100,000	0	
運営委員・分科会代表者合同会議	160,000	160,000	0	年2回開催（5・11月）
分科会助成金	650,000	760,000	△ 110,000	基本助成：　300,000 円 （ 30,000 × 10 分科会） 割増助成正会員　350,000 円 （ 5,000 × 70 名）
特別助成金	450,000	620,000	△ 170,000	研修分科会支援金（400,000円）
研修委員会費	100,000	100,000	0	
研究部活動費	50,000	50,000	0	研究部活動（運営委員会・研修委員会含む）
印　刷　費	350,000	350,000	0	研究部封筒：3000枚 研究部報告書：500部
通　信　費	100,000	100,000	0	
運営事務費	100,000	50,000	50,000	研究部担当理事校交代初年度のため増額
予　備　費	2,636,703	2,520,692	116,011	
合　　計	5,896,703	5,910,692	△ 13,989	

私立大学図書館協会２０１１年度東地区部会
館長会次第

日　　時：２０１１年6月１０日（金）１２：１０～１３：２０

会　　場：亜細亜大学　２号館６階　多目的室

懇談テーマ：　「情報リテラシーとユーザー環境の整備」

司　　会　：　増　山　幸　一　明治学院大学図書館長

私立大学図書館協会 2011年度東地区部会
研究講演会次第

日　時：2011年6月10日（金）　13：45～16：45
会　場：亜細亜大学

（受付開始　13：00）

1．開会の辞　（13：45～　　）
　司会者　（研究部運営委員）　神奈川大学　小　川　英　一

2．挨　拶
　研究部担当理事校
　東京農業大学図書館長　友　田　清　彦

3．テーマ
　大学図書館と Google Books

（1）講演　「Google 、Google ブックスと大学図書館」　（14：00～15：00）
　グーグル株式会社戦略事業開発本部　マネージャー　佐　藤　陽　一　氏

＜休　憩＞　（15：00～15：15）

（2）講演　「慶應義塾図書館のグーグル図書館プロジェクト」」
（15：15～16：30）
　慶應義塾大学三田メディアセンター　課長　松　本　和　子　氏
　慶應義塾大学メディアセンター本部　課長　入　江　伸　氏

質疑応答　（16：30～16：45）

4．閉　会

＜講師のプロフィール＞

佐藤　陽一

グーグル株式会社 戦略事業開発本部ストラテジックパートナーデベロップメントマネージャー
早稲田大学第一文学部卒。2006 年から Google ブックスに関する出版社・書店・図書館とのパートナーシップ構築の日本責任者。販売、マーケティング、版権分野を中心に出版社と IT 企業の両方の立場から、20 年以上出版ビジネスに携わる。
グーグル入社以前は、東洋経済新報社を経て 1998 年から 2006 年までマイクロソフトでマイクロソフトプレス（マイクロソフト公式解説書）事業の日本担当マネージャー。

松本　和子

慶應義塾大学文学部図書館情報学科卒
三田情報センター、UCLA での研修後湘南藤沢メディアセンターを経て
1999 年より三田メディアセンター
役職
三田メディアセンター課長　（レファレンス・雑誌・貴重書担当）
国公私立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会主査　2011.4-
著作
共著『図書館員のための英会話ハンドブック（国内編）』日本図書館協会，1996
共著『新訂情報サービス論』（新現代図書館学講座）東京書籍，2010
他

入江　伸　（いりえ　しん）

東京理科大学応用数学科卒
1997 年 1 月　学校法人慶應義塾入社　三田メディアセンター配属
2004 年 6 月　デジタルメディアコンテンツ統合研究機構
2005 年 8 月　メディアセンター本部
役職
メディアセンター本部課長　（電子情報環境担当）

慶應義塾図書館の
グーグル図書館プロジェクト

慶應義塾大学
三田メディアセンター
松本和子

図書館の戦略

- デジタル化のメリット
  - 資料の保存
  - 書庫狭隘化
  - OPACとの連携等による新たなサービスの構築
  - デジタル化費用の確保
- 課せられた課題
  - 著作権調査
  - メタデータ
  - バーコード付与

Google Books参加の意義

- 日本からの情報発信
  - 国内の研究者ばかりでなく海外の日本研究者への貢献
- 慶應義塾大学の「デジタル時代の知の構築」の実現

学内にアナログ情報として存在する
学術情報
技術情報
図書館の蔵書
といった様々な”知“をデジタル化し、
グローバルな公開と流通を目指す

Google Booksに提供した資料

- 著作権保護期間の満了した資料約10万冊
  - 慶應義塾関係資（史）料
  - 和装本（漢籍・和古書）
  - 1958年までに出版された図書、和統計、和雑誌

作業分担

- 慶應義塾大学
  - デジタル化する資料の選定
  - 著作権調査
  - メタデータ作成
  - バーコード貼付
  - サーバの用意
  - 搬出リスト・スリップの作成
  - 書架からの抜きだし
- Google
  - ブックコンディションガイドの作成
  - 資料の運送
  - スキャンニング
  - OCR
  - 画像のチェック
  - 画像の提供（ライブラリーコピー）

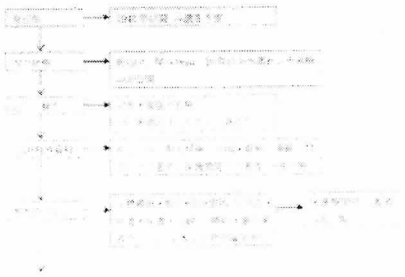
慶應義塾大学での作業　著作権調査

- 「国立国会図書館　資料デジタル化の手引き」（2005）に準拠
  - 一私大にできること、できないことの洗い出し
  - 著作権調査チームの設立（派遣職員の雇用）
  - 著作権調査データベースの作成
  - 学術的価値のあるものを出すための交渉

慶應義塾大学での作業　メタデータ

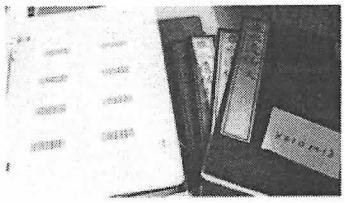
- MARC21　XML
  - 古い資料のため新たに目録を作成
    現物による遡及作業
    業務委託による短期集中作業
  - 参照MARC：旧分類はJAPAN-MARC　(J-Bisc)
    OPACでの重複調査行わない
    書誌単位ではなく物理単位の書誌
  - 和装本は、慶應版和漢古書目録規則に沿った
    最小限のデータ（読みなし、分類、件名なし）

著作権調査　1

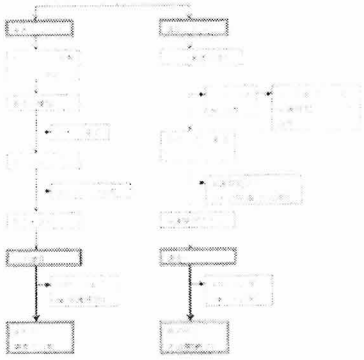


慶應義塾大学での作業　装備

- バーコードラベル貼付
- 請求記号の見直し（枝番等の整備）
- 和装本の紙帙（板帙）装備
- 修理製本



著作権調査　2



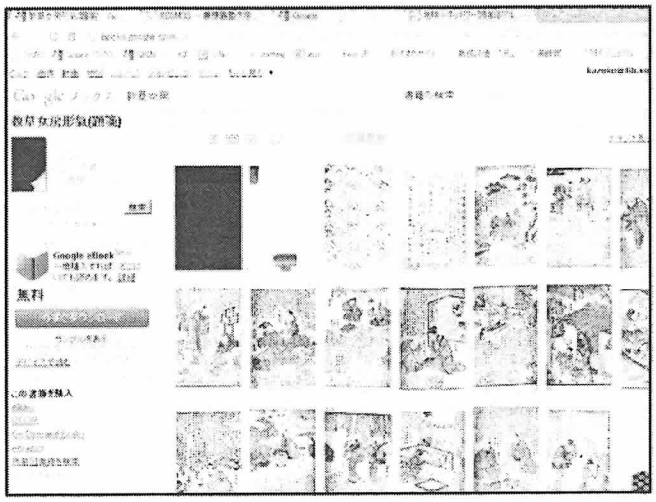
慶應義塾大学の作業　システム

- 目録データをGoogle用メタデータへ変換
- サーバへのアップロード
- 著作権データベースの作成・維持管理
- 搬出リストの生成
- 物流（貸出・返却）のコントロール

デジタル化に対する不安・不信

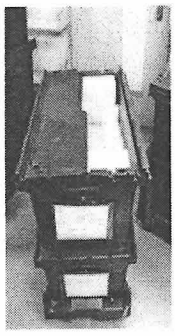
- デジタル化による資料の劣化への不安
- 和装本の扱いに対する不安
- 資料の内容に対する不安　（古文書）
- Google社に提供することへの抵抗

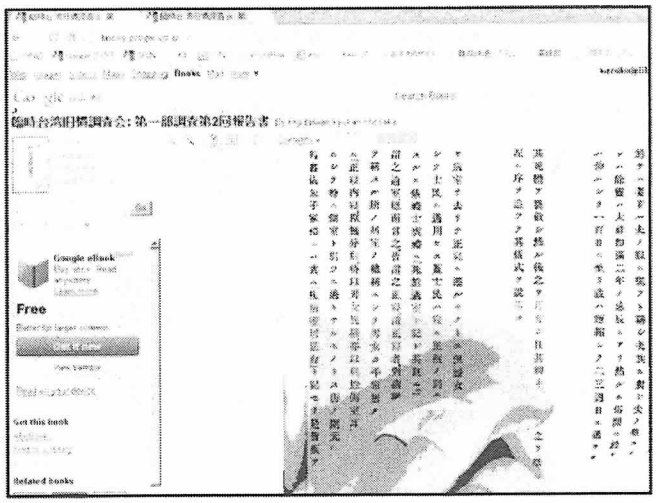
- 学内に資料の劣化を監視する「グーグルブック　コンディション点検委員会」を設置



スキャンニングの開始

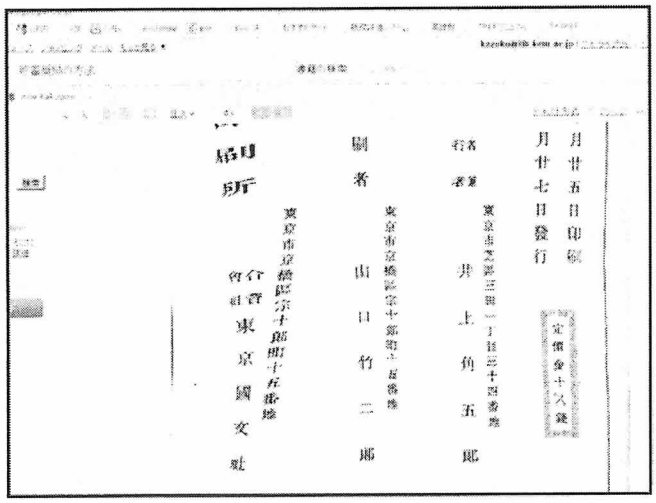
- スキャンセンターへの資料の発送
- 資料の抜き取り、梱包
- 物流管理
- スキャンできなかったもの、痛んだ資料の確認、リスト化

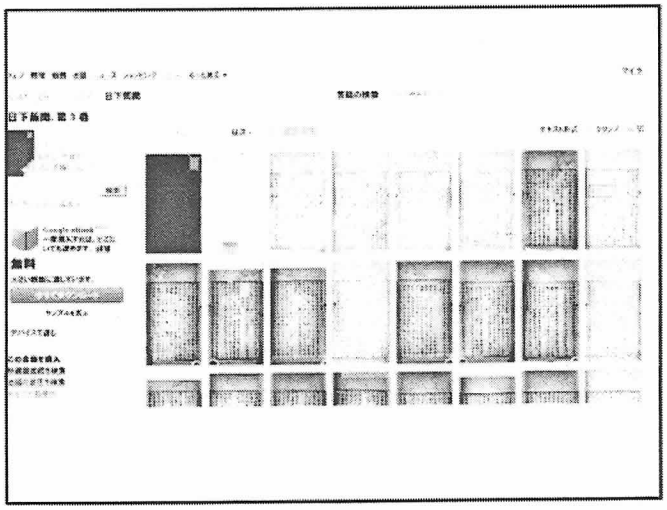




Googleサイトでの公開

- 約10万冊のうち9割がサイトで利用可能
- OCRの精度に問題があり、検索はできるがテキストは提供されていない。
- 画像についても問題が残っている
  - 指の写り込み
  - ページ抜け、重複
  - ピント、色





この続きは入江から

ご静聴ありがとうございました。

これからの課題　1

- 画像の品質
- OCRの精度
- メタデータの表示：海外MARCとの違い
- 利用者からの要望
  - 慶應所蔵本に限定して検索したい
  - 慶應が提供したリストがほしい
- 図書館に提供されるデータの活用法
  - Googleが提供するAPIはISBN,OCLC番号前提
- 画像データの保存とマイグレーション
- 国際連携　Hathi　Trust？

これからの課題　2

- デジタル化できなかった資料群をどうするか
  - デジタル化規格外の資料
  - 著作権保護期間の資料
    - 教科書
    - 入手不能

    一番デジタル化が望まれる資料群
- デジタルを含め今後の図書館サービスをどう構築するか

「慶應義塾図書館のグーグル図書館プロジェクト
その2 課題と展望」

2011/6/10
慶應義塾大学メディアセンター本部
入江　伸

問題意識の解説

2010/10/10 OCLC RLG Program ミハルコ氏

- 米国の大学図書館は，すでに「大量デジタル化」の時代を迎えている
- 書籍の「大量デジタル化」は新しい電子書籍の購読と古い紙媒体の書籍のデジタル化とにより進んでいる
- 図書館のサービス，電子資料の保存，紙媒体資料の保存が課題となっている

Google Library Project で感じた日本での技術的な課題

- OCRがキーテクノロジー
  - 紙からスキャニングする場合は、OCR精度がキーとなる
  - 校正コストをかけると、大規模な電子書籍化は不可能
- メタデータのあり方
  - メタデータと目録の区別
  - フォーマット
  - URI(ISBN以前の番号は?)
- 画像とメタデータのパッケージング方法
- 検索技術とデータ量

Google Library project を背景に HathiTrust が動いている

- 米国の23の主要大学によって立ち上げられた、協同デジタルリポジトリ
- 学術研究利用を主眼にデザイン
- Google Book Searchのバックアップ的機能も担う
- 2010年10月現在、約680万冊のコンテンツを収録（うちパブリックドメインは約145万冊）
- 著作権保護期間内の資料は、検索のみ可（検索語の出現頻度等がわかる）

Google Library Project で感じたビジネス・モデル的な課題

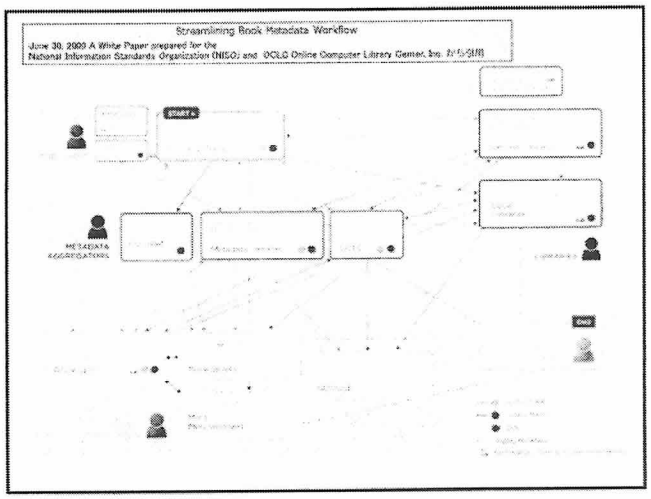
- マスデジタイゼーションモデル
  - マスデジタイゼーションは工場モデルである
- メタデータはフローになる
  - 著者、出版社、流通、図書館、利用者を流れる
- URIモデル
  - インターネット上の書籍を示すURIが必要
  - ISBN以前でグローバルな番号は LC LCNO
- 学術資料の著作権クリアリングモデル
  - 学術出版で効率的に著作権クリアリングのモデルがほしい。

メタデータへの問題意識

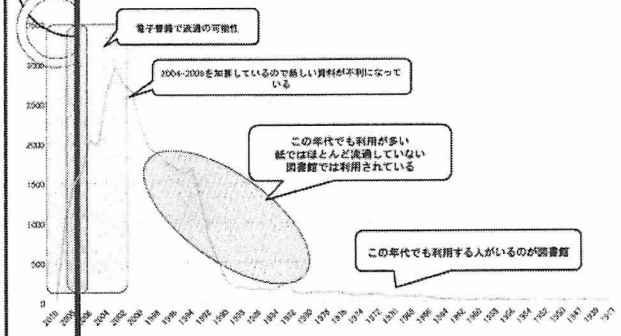
- 目録とメタデータの違い
  - 目録は、紙の資料の所蔵先をさす
  - メタデータは、URI でインタネット上の全文を占めるもの
- メタデータは交換フォーマット
  - 図書館業界ではMARC21 が標準 MARCフォーマットは面倒なのでMARC XML か Mods　　パッケージングはMETS
  - 日本の図書館業界が国際的な図書館標準から遠くなっている。
- メタデータは流通フローになりソーシャルになる
  - 図書館だけでつくるモデルは続かない
- メタデータは物とデジタルのリンク、URIだと考えると
  - 一括記入の概念は限界があり、情報欠落が発生する
  - ページ数、大きさが重要　本の大きさがわからない
  - 日本ではメタデータにURI が付けられない
  - JpNO LCNO OCLCNO の対応は？
- まだローマ字が要望される。
  - いまだに日本でのローマ字標準に悩む

OCRはキーテクノロジー

- 図書館が必要な電子書籍は・・
- 電子ジャーナルは、カレントから始まりバックを電子化して利用が広がっていった。
- 古い資料を電子化し、利用するためにはOCR精度がコストを規定する
- インターネット(Google?)全てをテキスト化し、サーチし、リンクし合う。

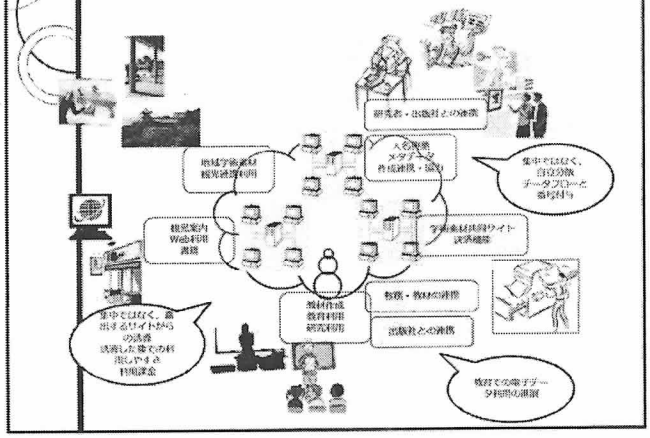


理工学部・出版年別の貸出タイトル数

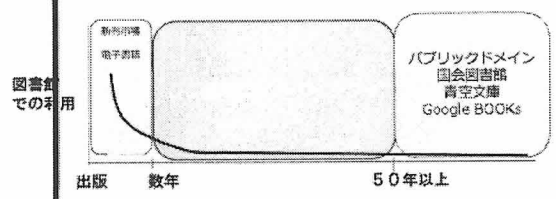


慶應義塾大学理工学メディアセンター（図書館）の貸出記録から、2004～2009年度の6年間で1回以上の貸出があったタイトル数を出版年別でカウント。10年以上前（2000年以前）の資料も一定数利用されている

MLA ＋ P 連携でのメタデータフロー



学術書全体の電子化のコンセプト



しかし

- 国内での電子化は進まない
- これらの問題を日本でどうやって解決していったらいいか？
- 大学図書館として取り組めることはないか

学生の反応

- 第一期モニターに一週間で４００人を超える応募
- 電子学術書はWebコンテンツ化する？
- 双方向 ソーシャル、コミュニティー・エディティングがキーワード

- 慶應義塾大学メディアセンターの取り組みの紹介

電子学術書利用実験プロジェクト

- 出版社と連携する
- 実際に電子書籍をつくってみる
  - 電子書籍化の問題点を整理する
- 電子書籍配信でのメタデータを整理する
- 学生につかってもらって、ビジネスの可能性をさぐる
- コストモデル、売上モデルを考える
- メタデータの可能性